



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 トレーディア株式会社

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 安雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長

(氏名) 山口 勝

TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,702	1.7	85	15.6	104	15.2	64	27.8
26年3月期第3四半期	10,521	△4.9	74	△12.2	90	△25.3	50	△32.8

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 217百万円 (60.3%) 26年3月期第3四半期 135百万円 (149.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	4.43	—
26年3月期第3四半期	3.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,076	2,365	23.5
26年3月期	9,361	2,259	24.1

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 2,365百万円 26年3月期 2,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,550	4.0	176	115.1	165	35.8	100	67.0	6.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	14,700,000 株	26年3月期	14,700,000 株
27年3月期3Q	42,499 株	26年3月期	42,249 株
27年3月期3Q	14,657,612 株	26年3月期3Q	14,657,964 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューを受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費などに弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響もあって、緩やかに回復しつつあります。しかしながら、急激な円安進行による原材料価格の高騰や海外景気の下振れなどにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応するとともに、積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比4.7%増加し、売上高は107億2百万円余(対前年同期間1億81百万円余増)となりました。損益面につきましては、売上高は増加しましたが、外注費比率が増加したことにより、営業総利益は前年同期比2.7%減少し8億10百万円余(対前年同期間22百万円余減)となりました。営業利益は前年同期間比15.6%増加し85百万円余(対前年同期間11百万円余増)、経常利益は前年同期間比15.2%増加し1億4百万円余(対前年同期間13百万円余増)、四半期純利益は前年同期間比27.8%増加し64百万円余(対前年同期間14百万円余増)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## ①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨は減少しましたが、機械機器製品が増加したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比1.8%増加し24億31百万円余、セグメント損失は56百万円余(前年同期間はセグメント損失1億7百万円余)の計上となりました。

## ②輸入部門

輸入部門におきましては、雑貨は増加しましたが、繊維製品、家電製品が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比0.4%減少し41億39百万円余、セグメント利益は前年同期間比93.9%減少し4百万円余(対前年同期間62百万円余減)の計上となりました。

## ③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は、北米、メキシコ向けの機械及び機械部品が好調に推移したことに加え、東南アジア向けの建材、自動車部品の荷動きが活発化したことにより、国際輸出部門の売上高は前年同期間比13.7%増加し10億41百万円余の計上となりました。国際輸入は、消費財を中心に荷動きが長らく低迷しておりましたが、ようやく底入れの兆しが見られたことにより、国際輸入部門の売上高は前年同期間比0.8%増加し29億33百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比3.9%増加し39億75百万円余、セグメント利益は前年同期間比7.3%減少し91百万円余(対前年同期間7百万円余減)の計上となりました。

## ④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比1.4%増加し2億19百万円余、セグメント利益は46百万円余(前年同期間はセグメント利益16百万円余)の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入62百万円余を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億15百万円余増加し、100億76百万円余となりました。流動資産は6億25百万円余増の37億91百万円余、固定資産は90百万円余増の62億85百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、立替金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、減価償却による減少等もありますが、投資有価証券の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円余増加し、47億42百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、1億1百万円余増加し、29億68百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金金の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、リース債務及び繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1億5百万円余増加し、23億65百万円余となりました。これは、利益剰余金の減少がありますが、退職給付に係る調整累計額及びその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月14日公表の平成27年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤続期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へと変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が60,309千円増加し、利益剰余金が38,597千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	702,944	859,065
受取手形及び売掛金	1,629,504	1,702,407
繰延税金資産	88,499	88,499
立替金	647,913	1,037,288
その他	98,286	106,300
貸倒引当金	△1,174	△2,524
流動資産合計	3,165,973	3,791,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,743,793	1,665,336
機械装置及び運搬具（純額）	73,505	60,252
工具、器具及び備品（純額）	11,577	8,977
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	60,187	132,632
有形固定資産合計	3,670,720	3,648,855
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	167,709	164,277
無形固定資産合計	202,269	198,837
投資その他の資産		
投資有価証券	1,043,244	1,153,899
差入保証金	778,842	779,095
その他	511,921	520,227
貸倒引当金	△11,810	△15,426
投資その他の資産合計	2,322,198	2,437,795
固定資産合計	6,195,188	6,285,489
資産合計	9,361,162	10,076,524

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,266,084	1,315,164
短期借入金	2,490,402	2,947,322
リース債務	21,592	41,027
未払法人税等	31,951	47,789
賞与引当金	185,850	74,550
その他	238,275	316,520
流動負債合計	4,234,156	4,742,373
固定負債		
長期借入金	2,284,472	2,261,220
リース債務	43,390	101,608
長期未払金	104,957	88,034
繰延税金負債	83,225	147,259
役員退職慰労引当金	67,761	75,138
退職給付に係る負債	283,422	295,702
固定負債合計	2,867,229	2,968,962
負債合計	7,101,385	7,711,336
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,383,789	1,336,808
自己株式	△9,254	△9,296
株主資本合計	2,279,962	2,232,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,758	227,983
退職給付に係る調整累計額	△190,944	△95,733
その他の包括利益累計額合計	△20,185	132,249
純資産合計	2,259,776	2,365,188
負債純資産合計	9,361,162	10,076,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収入	10,521,526	10,702,960
営業費用	9,689,174	9,892,916
営業総利益	832,352	810,044
一般管理費	758,007	724,113
営業利益	74,344	85,930
営業外収益		
受取利息及び配当金	28,986	25,553
持分法による投資利益	11,755	17,656
その他	52,775	45,358
営業外収益合計	93,517	88,569
営業外費用		
支払利息	68,776	66,142
その他	8,653	4,137
営業外費用合計	77,430	70,279
経常利益	90,432	104,220
特別損失		
固定資産除売却損	345	0
ゴルフ会員権償還損	5,000	-
特別損失合計	5,345	0
税金等調整前四半期純利益	85,086	104,220
法人税等	34,255	39,254
少数株主損益調整前四半期純利益	50,831	64,965
四半期純利益	50,831	64,965



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,831	64,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,789	57,224
退職給付に係る調整額	-	95,210
その他の包括利益合計	84,789	152,435
四半期包括利益	135,620	217,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,620	217,401
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,386,683	4,156,777	3,824,677	10,368,138	153,387	10,521,526	—	10,521,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	859	131	—	990	62,958	63,948	△63,948	—
計	2,387,542	4,156,908	3,824,677	10,369,129	216,346	10,585,475	△63,948	10,521,526
セグメント利益又は損失(△)	△107,728	66,741	99,208	58,220	16,123	74,344	—	74,344

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。  
 2. 調整額△63,948千円は、セグメント間取引消去額であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,431,337	4,139,455	3,975,057	10,545,849	157,111	10,702,960	—	10,702,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	—	82	62,317	62,399	△62,399	—
計	2,431,337	4,139,537	3,975,057	10,545,931	219,428	10,765,359	△62,399	10,702,960
セグメント利益又は損失(△)	△56,798	4,047	91,930	39,180	46,750	85,930	—	85,930

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。  
 2. 調整額△62,399千円は、セグメント間取引消去額であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。